

野菜の需給・価格動向レポート(平成25年3月18日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格動向			3月の価格動向		生育及び価格の3月の見通し			
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	87	107	88.05	91	・入荷見込量: 18,380 (100) ・主産地: 愛知 (75)、千葉 (13)、神奈川 (7)	・愛知産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷になっているものの、今後は生育が進み、下旬は出荷量が回復する見込み。千葉産は、遅れた作型と通常の作型の出荷が重なり多めの出荷となっているものの、今後は作型の切り替え時期となり、出荷量が減少する見込み。神奈川産は、適雨により順調な出荷となり、今後も、平年並みの出荷の見込み。 ・愛知産及び神奈川産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みの見込み。	
		83.73	89	106	83.73	88	・入荷見込量: 5,100t (100) ・主産地: 愛知 (59)、大阪 (15)、兵庫 (11)、和歌山 (6)		
	ねぎ 	229.99	230	250	229.99	252	・入荷見込数量: 4,540t (100) ・主産地: 千葉 (48)、埼玉 (24)、茨城 (11)、輸入 (5)	・千葉産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、低温の影響で細め傾向となっており、今後は平年をやや下回る出荷の見込み。 ・埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。	
		309.39	321	342	309.39	310	・入荷見込数量: 520t (95) ・主産地: 鳥取 (25)、群馬 (17)、埼玉 (16)、大分 (16)、静岡 (7)		
	はくさい 	61.12	70	71	61.12	66	・入荷見込量: 8,972t (95) ・主産地: 茨城 (44)、兵庫 (35)、群馬 (11)	・茨城産は、秋冬ものが終盤を迎え出荷量が減少する中で、春ものの生育が遅れていることから、下旬は少なめの出荷となる見込み。兵庫産は、冷蔵もの中心の出荷で、平年並みの出荷となる見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれるものの、気温の上昇により鍋物需要が減少すると見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		68.7	74	75	68.7	66	・入荷見込量: 3,300t (99) ・主産地: 長崎 (54)、愛知 (17) 兵庫 (10)、熊本 (9)、宮崎 (8)		
	ほうれんそう 	307.66	331	403	307.66	360	・入荷見込量: 1,620t (100) ・主産地: 茨城 (26)、群馬 (26)、千葉 (20)、埼玉 (18)	・茨城産は、出荷の谷間になり少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇により、出荷量が増加する見込み。群馬産及び千葉産は、気温の上昇により多めの出荷となり、今後も潤沢な出荷となる見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。	
		341.25	358	433	341.25	338	・入荷見込量: 660t (100) ・主産地: 徳島 (47)、福岡 (26)、群馬 (11)		
	レタス 	233.85	223	237	199.64	171	・入荷見込量: 7,340t (100) ・主産地: 茨城 (36)、静岡 (21)、香川 (9)、兵庫 (7)、栃木 (5)	・茨城産は、最近の気温の上昇により、遅れていた生育が回復して順調な出荷となっており、今後は出荷量が増加する見込み。静岡産は、気温の上昇により玉の肥大が進み、多めの出荷となっているものの、今後は出荷の終盤となり、出荷量が減少する見込み。 ・茨城産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。	
		226.75	228	233	203.61	171	・入荷見込量: 1,100t (105) ・主産地: 兵庫 (43)、徳島 (23)、茨城 (13)、香川 (10)、長崎 (6)		
たまねぎ 	76.15	89	92	76.15	93	・入荷見込量: 11,639t (103) ・主産地: 北海道 (71)、静岡 (13)、輸入 (2)	・北海道産は、作柄良好で前年を上回る出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。静岡産は、出荷のピークとなり多めの出荷となっているものの、月末までの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれるものの、輸入ものの価格が高いことから需要が堅調で、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。		
	76.15	90	97	76.15	93	・入荷見込量: 4,100 (101) ・主産地: 北海道 (45)、兵庫 (23)、長崎 (12)、静岡 (8)			
果 菜	きゅうり 	370.98	276	324	253.95	265	・入荷見込量: 5,580t (102) ・主産地: 群馬 (21)、埼玉 (19)、千葉 (17)、宮崎 (15)、茨城 (12)	・群馬産は、生育が進み、平年より多めの出荷となり、月末までは多めの出荷となる見込み。埼玉産は、好天により生育が進み、多めの出荷となり、今後も出荷量が増加する見込み。千葉産も、順調な出荷の見込み。宮崎産は、好天により順調な出荷となり、今後も出荷量が増加する見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、3月末までは、平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		350.33	264	313	242.77	262	・入荷見込量: 1,200t (106) ・主産地: 宮崎 (40)、徳島 (21)、高知 (20)、群馬 (8)、愛媛 (7)		
	トマト 	332.69	439	476	339.78	502	・入荷見込量: 5,988t (110) ・主産地: 熊本 (27)、栃木 (22)、愛知 (12)、群馬 (5)、福岡 (5)、埼玉 (5)、茨城 (5)、千葉 (5)	・熊本産は、好天で気温も上昇していることから順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷となる見込み。栃木産は、冬場の低温の影響で樹勢が弱く小玉傾向で、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・栃木産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		311.06	407	437	321.78	463	・入荷見込量: 1,000t (98) ・主産地: 熊本 (61)、福岡 (16)、愛知 (9)		
	なす 	389.03	387	386	347.77	371	・入荷見込量: 2,440t (100) ・主産地: 高知 (55)、福岡 (21)、佐賀 (7)	・高知産は、好天と気温の上昇により順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。福岡産も、好天の影響で順調な出荷となり、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		397.74	373	376	330.95	356	・入荷見込量: 580t (115) ・主産地: 高知 (36)、熊本 (26)、福岡 (17)、岡山 (11)		
	ピーマン 	551.24	607	600	551.24	621	・入荷見込量: 1,337t (102) ・主産地: 宮崎 (32)、茨城 (29)、高知 (23)、鹿児島 (16)	・宮崎産及び茨城産は、好天と気温の上昇により順調な生育で、平年を上回る出荷となり、今後も順調な出荷の見込み。鹿児島産及び高知産は、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回って推移している価格は、平年並みに近づき見込み。	
		513.91	600	569	513.91	588	・入荷見込量: 290t (116) ・主産地: 宮崎 (57)、高知 (30)、鹿児島 (7)		
	根 菜	だいこん 	79.03	90	91	79.03	89	・入荷見込量: 11,365t (100) ・主産地: 神奈川 (59)、千葉 (35)	・神奈川産は、低温の影響で小ぶり傾向であるものの、平年並みの出荷となっている。今後は4月上旬の切り上がりに向けて、出荷量が徐々に減少する見込み。千葉産は、トンネルもの中心の出荷となり、今後は出荷量が徐々に増加する見込み。 ・千葉産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
			80.47	81	76	80.47	77	・入荷見込量: 3,100t (115) ・主産地: 鹿児島 (32)、長崎 (29)、徳島 (22)、香川 (9)	
にんじん 		101.05	123	127	101.05	145	・入荷見込量: 6,844t (95) ・主産地: 千葉 (50)、徳島 (26)、埼玉 (7)、輸入 (5)	・千葉産は、少なめの出荷となっており、月末までの出荷の見込み。徳島産は、気温の上昇により生育が進んでおり、4月上旬からまとまった出荷となる見込み。 ・徳島産の出荷量が増加すると見込まれるものの、本格的な出荷は4月以降と見込まれることから、価格は3月末までは、平年を上回って推移する見込み。	
	104.73	123	127	104.73	138	・入荷見込量: 2,300t (86) ・主産地: 鹿児島 (61)、徳島 (20)、長崎 (9)			

種類	2月の価格動向				3月の価格動向		生育及び価格の3月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	上旬	
		中旬	下旬				
いも	さといも	217.95	180	190	217.95	197	・入荷見込量：820t (100) ・主産地：千葉 (33)、埼玉 (30)、輸入 (13)
	さといも	219.65	148	141	219.65	117	・入荷見込量：177t (-) ・主産地：愛媛 (38)、宮崎 (35)、輸入 (14)、熊本 (9)、鹿児島 (2)
	ばれいしょ	88.17	92	88	88.17	86	・入荷見込量：10,067t (110) ・主産地：北海道 (72)、鹿児島 (26)
いも	ばれいしょ	88.17	93	93	88.17	94	・入荷見込量：4,700t (103) ・主産地：北海道 (63)、鹿児島 (36)

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものです。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,194gで前年比100%、購入金額は、1,656円で同101%となり、購入数量、購入金額ともに前年並みとなった。また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は、204円で過去5か年平均比100%、レタスは、695円で同125%となり、キャベツは過去5か年平均並みとなり、レタスは大幅に上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年		
	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	金額(円)	購入数量(g)	前年比	金額(円)
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,194	100	1,656
2月	4,447	1,610	4,499	1,735		0	0
3月	4,797	1,765	4,584	1,851		0	0
4月	4,723	1,834	4,620	1,904		0	0
5月	5,055	1,905	4,945	1,948		0	0
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0	0
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0	0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0	0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0	0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0	0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0	0
12月	5,106	1,819	4,998	1,794		0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁業世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	695	125
3月	207		0	512		0
4月	248		0	466		0
5月	175		0	369		0
6月	140		0	338		0
7月	149		0	308		0
8月	138		0	414		0
9月	142		0	526		0
10月	150		0	467		0
11月	155		0	385		0
12月	148		0	495		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年2月の値は、2月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

2月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比60%(中国は同66%、アメリカは同24%)の1万8千トン、にんじんは同93%(中国は同91%、台湾は同91%)の5千トン、ねぎは同102%(中国は同101%)の4千トンとなり、たまねぎは、前年を大幅に下回り、にんじんはかなり下回り、ねぎはわずかに上回った。

野菜の輸入数量

区分	平成23年		平成24年		平成25年1月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	66,220	83
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	169,929	104
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	236,149	97
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	122,406	90
中国産シェア	52		51		52	

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

品目	輸入先	平成24年2月(A)		平成25年2月(B)		(B)/(A)
		前年比	前年比	前年比	前年比	
たまねぎ	合計	29,888	17,907	60		
	中国	20,770	13,645	66		
	アメリカ	5,398	1,320	24		
にんじん	合計	5,532	5,145	93		
	中国	4,764	4,344	91		
	台湾	523	475	91		
ねぎ	合計	4,085	4,158	102		
	中国	4,083	4,132	101		

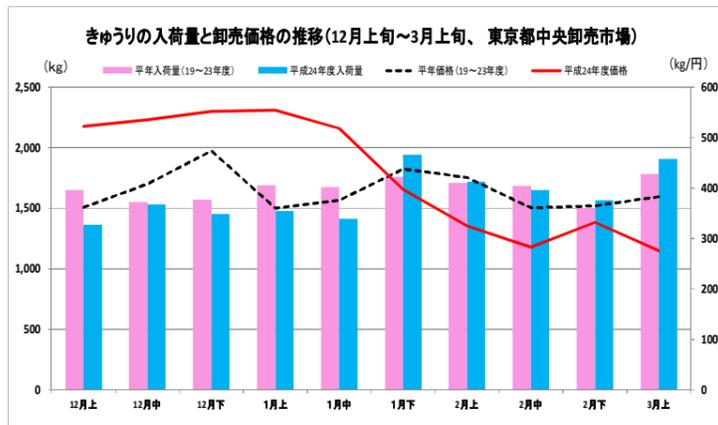
資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年2月は、速報値である。

4 トピック — きゅうりの価格動向 —

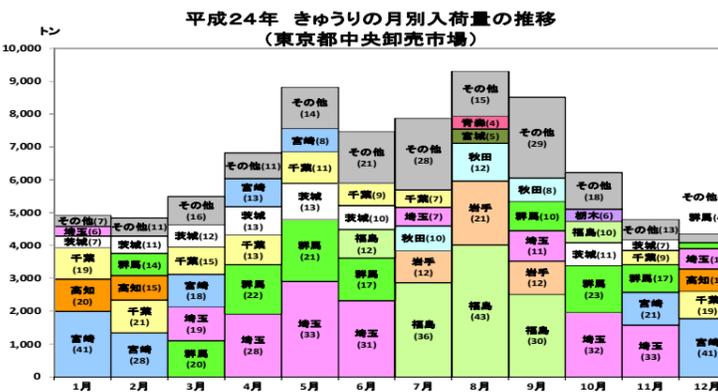
きゅうりの価格が低迷している。1月中旬までは入荷量が前年より少なく、価格は前年を上回っていたが、1月下旬より入荷量がおおむね前年を上回り、価格は前年を下って推移している。3月上旬は、入荷量が前年を一段と上回り、価格はさらに下落した。

これは、3月は、主産地である西南暖地産の冬ものから関東産の春ものに出荷が切り替わる時期であるが、
① 今年の冬は、原油高と円安の影響で重油の価格が高騰していることに加え、主産地の宮崎等において曇天が続いたことから、生育が遅れ気味になっていたが、気温の上昇とともに日照量にも恵まれたことから、前年を上回る出荷となってきていること
② 後続の埼玉産や群馬産においても、1月から3月上旬まではほぼすべての旬で日照量が前年を上回っていることから、生育が順調に進んでいることによるものと思われる。

きゅうりは、サラダ需要等で気温の高い時期に購入数量が伸びる傾向があり、最近の気温の急上昇を受けて、家庭における購入数量は伸びると見込まれるもの、外食のメニュー切り替えは4月が多いことや、好天による潤沢な入荷はしばらく続くものと思われることから、価格は3月末までは、前年を下って推移するものと思われる。

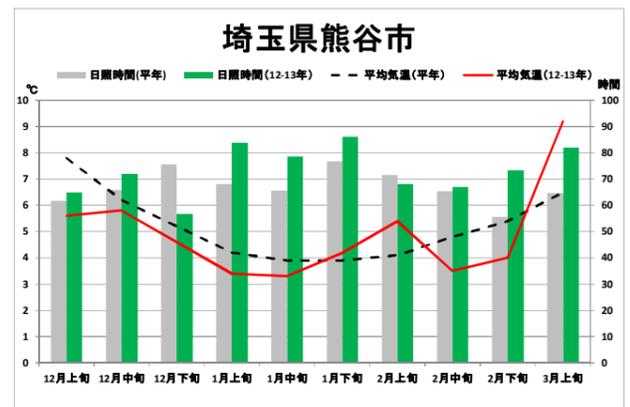
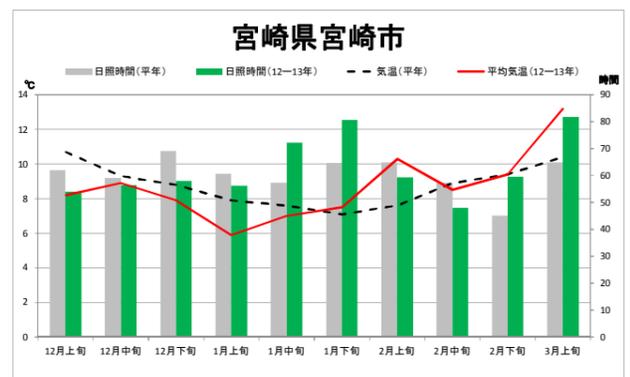


資料：青果物情報センター



資料：東京都「平成24年東京都中央卸売市場年報」

主産地の気象(12月上旬～3月上旬)



資料：ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。